



令和2年度 学校だより

はがきた

第11号 令和3年1月29日

教育目標

集中して学び、生命と人権を
守り、生きる力の基礎を身に
付けた子どもを育成する。
『学ぶ子 守る子 がんばる子』



3学期は新たな出発の準備です！

令和3年という新たな年が始まり、3学期がスタートしました。保護者の皆様には、ますます御健勝のことと思います。改めまして、今年もよろしくお願いいたします。

さて、3学期は、2か月半という短い学期ですが、学年を締めくくり、次のステップに進むための準備をする大切な時期となります。特に、6年生は小学校を卒業し中学校に入学することになります。大きく成長した心と体を見ると、大きなうれしさとともに一抹の寂しさを感じるのではないのでしょうか。この10か月の間、6年生は、芳賀北小のリーダーとしてたいへんよく頑張ってくれました。今、6年生は、5年生に次のリーダーを託すべく、はがきた当番の引継をしています。その姿を見ると、6年生とともに5年生もたくましく見えてきます。また、4年生以下の学年も、この1年で、とても大きな成長を感じています。授業中、席についてじっとしていることが得意でない児童もいますが、だんだんとできるようになっている姿を見かけ、うれしく思いました。さらなる成長を信じ、今年も教職員一丸となって指導に取り組んでいきたいと思ひます。

御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

2月3日(水)には立春を迎えます。暦の上では春となります。少しずつ温かくなるといいですね。



緊急事態宣言発出！今まで以上に気を付けて！！

1月13日(水)に、栃木県に新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が発出されました。年末年始における感染者の急拡大は栃木県も例外ではなく、クラスターの発生などもあり、大きな不安があったと思います。緊急事態宣言発出から2週間あまり経ち、やや落ち着きを見せ始めていますが、まだまだ安心できるレベルではありません。では何をどうすればいいのか、と迷うところではありますが、基本的には、やるべきことは今までと同じです。飽きずに慣れずに、今までにも増して丁寧にしっかりと対策することが大切なのです。ただ、これだけ自粛期間が続くと、児童を始め、多くの方がストレスを感じていると思います。なかなかうまく発散する方法が見つかりませんが、趣味や食事を工夫してみたり、相談できる機会を増やすなど、考えてみてはどうでしょうか。学校でもできることを探したいと思ひます。また、授業参観や保護者会、卒業式など、思うようにできないかもしれませんが、実施できる方法を模索していきたいと思ひます。御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



作品展入選者多数！よくがんばりました！！ (敬称略)

※芳賀地区書初展	金賞 2年 上野美颯	5年 舘野心暖	
優良賞	1年 矢口陽茉莉	2年 舘野明莉	3年 黒川想太
	4年 砂子澤奈緒	武藤優咲	5年 塩畑佑真
※芳賀地区理科研究展覧会	優良賞 3年 松本心結	松本陽希	



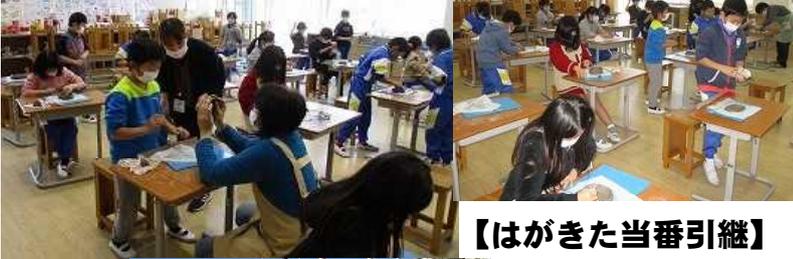
【2月の主な行事】

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 2 (火) 小学校入学説明会 | 15 (月) 冬の読書週間 (~2/19) |
| 3 (水) クラブ | 17 (水) PTA交通委員会新旧地区役員会 |
| 4 (木) 巡回相談 | 18 (木) 巡回相談 |
| 10 (水) 北小タイム(表彰、講話)委員会 | 24 (水) クラブ |
| 11 (木) 建国記念の日 | 25 (木) 授業参観(自由参観) |
| 15 (月) 自主学习強調週間 (~2/21) | 26 (金) 巡回相談 |



☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆

【焼き物教室（4年）】



【雪の朝（1 / 12）】



【はがきた当番引継】



実践目標は小刻みに！

高校3年の冬、11kmを走る校内マラソン大会がありました。学級の中であまり目立つことができない私は、自分の中では得意な長距離走で、高校3年間で最もいい成績を出し、なんとか目立ってやろうと思っていました。今こそマラソン大会は、公園の周回コースを走っていることがほとんどですが、そのころはまだ、一般道を走っていました。ですので、900人以上が一斉にスタートし一般道に出て行きます。ポイントとなるのは何といてもスタート。スタート直後の校庭は、直線距離200mの主導権争い。意気込んだ私は、ほぼ全力で飛び出しました。校門を出るときに教えられた順位は、過去に取ったことがない驚くほどの上位。いくらできるだけ上位で出たいといっても、全く考えていなかった順位でしたので、後悔しても間に合わない悔しさとともに、「最後までもつはずがない」という絶望感が襲ってきたのでした。

ただ、まだ始まったばかり。過去に走りきることができたあの交差点まではがんばろう、そこまで行ったら歩こう、と思い直し、走り続けました。程なくその目標はクリア。ひょっとすると次の交差点まで走れるかも、そこまで行ったら歩こう、とまた走り続けました。またクリア。ならば、次の電柱まで、…、次の歩道橋まで、…。目標をちょっとずつ長くし、ひとつひとつクリアする、たいへん心地よい時間でした。そして、何度も繰り返すうちに、「これは走りきれぬのでは」と思える地点まで来てしまったのです。結果は、過去最高順位、過去最高記録。そうなりたいとは思っていましたが、正直そこまでは考えてもいないものでした。始めからただ漠然と走っていたのでは、絶対に残せない結果だったと思っています。

「大きな目標にたどり着くためには、それまでに実践すべき小刻みな目標が必要である」この経験は、その後の私に大きな影響を与えてくれました。

現役メジャーリーガーの大谷翔平選手は、いつまでにこれをできるようにするという、明確な目標をいくつも立てていたと聞きました。やはり、実践目標を小刻みに、そして、より具体的に立てることが大切だ、ということでした。イチロー選手やプロゴルファー石川遼選手の小学校の話も同じように聞いています。

それぞれ到達地点は違うかもしれませんが、また、途中にはいろいろな困難にぶつかることがあり、予定どおりには行かないかもしれません。それでも、一歩一歩近づいていくしかないのです。

「夢は大きく。実践目標は小刻みに」何かの参考になれば幸いです。



※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。
ぜひ御覧ください。